

手づくりみその味は最高!

10月7日、長野上水内の教職員60名余が本校に集まり、健康教育についての研究会を行いました。本校では、食に関する指導から生活習慣を見直すというテーマのもとに昨年度から食育に力を入れてきており、6年生が授業公開をしました。担任は、「朝食アンケート」を行い、毎日の朝食にみそ汁を飲んでいる子どもが、学級の半分程度となっており、時代の流れの中で、みそ汁の陰が薄くなっていることをうれい、自分たちの朝食を考えていく上で、味噌に着目し、そのよさを知ったり、食べたりして体感してほしいという願いから、朝食パーティーを計画しました。そして、味噌について色々調べていく中で、手づくり味噌を作っている祖母等になぜ手づくり味噌を作っているのか疑問をもち、取材等をさせてもらいながら、実際にその手づくり味噌を使って味噌汁を作って飲んだり、味噌の味を直接味わったりして、手づくりみその良さや協力してくれた祖母たちの味へこだわり、願いを知る学習をしました。

授業後の感想は、
「齋藤さん、塚田さん等みそを作っている人たちは、こんなにもみそに思いを込めて作っているんだなあ とすごい感心しました。」

「みそは健康にいいから、できるだけ食べるといいと思います。」

「齋藤さんは齋藤さんの家の味をもっていて、日本で少ししかない味だと思います。これからもがんばって続けてください。」

「みそを手づくりする人は、家の味が好きだから苦労してまでも作り、味わいたいからだと思う。みそ作りにはしかない味は、人それぞれで世界に一つしかない。日本の大切な食の一つ。」

授業を参観した他校の先生からは、「健康教育の中で食事は大きな柱となるものであり、味噌という地域の食材で栄養価や手づくりにこだわり、人とのかわりや体験を通した学習はとてもよいと思った。朝食を食べてこない子や食べてきていても中身が乏しくごはんにふりかけという児童が我が校にもいる。今日学んだことを持ち帰り“バランスのとれた朝食”“しっかりと具の入ったみそ汁”をどれだけ家庭と一緒に考え、子どもたちと学んでいくかなど自分を見直す機会になった。」といった授業の感想をもらいました。



10月校長講話より

10月15日

先々週と先週と台風がくるんじゃないかと心配しましたが、みんなの住んでいる豊野のところではそんなに台風の被害はなくてよかったです。

先月9月豊野中学校の文化祭に行ってきました。体育館の所に空き缶で作った絵が飾られていました。空き缶をみんなで集めてきて、つなげて模様になっていました。大きなものを作ってくれました。



今、南校舎と北校舎の通路「ゆたかのギャラリー」に絵手書きが飾られています。毎年毎年地

域の坂本幸子さんが描いて展示してくれています。身近にある野菜などを描いて、その時の気持ちが描かれています。展示されているので、覗いてください。手紙も書かれて展示されていました。どんなことが書かれているか、最後のところを紹介します。

「みなさんはどこであっても気持ち良く挨拶をしてくれて、うれしく思います。心からお礼を言わせてもらいます。ありがとう。これからもどうぞよろしくお願いします。」

先生は、この手紙を読んで、地域の皆さんがみんなをよく見ているなど思っています。気持ちいいあいさつしてくれているみなさんにありがとうと言ってもらえていること、挨拶っていいもんだなと思います。



ありがとうという言葉、漢字で書くと「有り難う」と書きます。とてもいい言葉だなと思います。これは「魔法のことば」かなと思います。「有る」は有るとかないとかのある、「難う」は「あることが難しい」そうそうあるものじゃない、あたりまえでない、あたりまえでないからありがたい、という意味です。

例えば、けさ元気に起きて学校にこれました。朝ご飯食べてきました。朝ごはんはお母さんや家の大人の方が作ってくれてあったのかな、自分でできるかという難しい、朝ごはん食べてこられることあたりまえじゃないことです。ありがたいこと。

この間の台風がきている時避難所へ避難した人、当たり前ふとんから起きられるかということないのかもしれない。

今朝元気に起きてこられたことありがたいです。そんな時、ありがとうという言葉がかけられるといいなと思います。

「ありがとう」ということば言われた人も気持ちよくなります。また言った自分自身もきもちよくなります。

普通にこの「ありがとう」の言葉がでるとうれしいです、毎日やってくれれば学校が楽しくなると思います。是非やってみてください。

